

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
井原	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
矢掛	1	0	0	0	0	1	0	2	×	4

矢：花岡 — 小池

文責：松森 李紀（普通科探究コース）

矢掛高校の先発は、2年生右腕の花岡（木之子中）

- 1回表、井原高校の攻撃。先頭打者に四球を与えてしまい、連続盗塁などで一死三塁。このピンチに中前打で初回から1点を奪われる。二死からさらに盗塁を決められるも後続を抑える。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。一死から大山（小北中）が四球により出塁し、さらに捕逸により塁を進める。続く小川（真備中）も四球で出塁。二死から小池（総社西中）の打球が失策となり1点を挙げ、同点とする。
- 3回表、井原高校の攻撃。一死から右前打を放たれ、さらに盗塁を決められる。二死から暴投で三塁へ進塁されるも、次打者から三振を奪い、勝ち越しを許さない。
- 3回裏、矢掛高校の攻撃。一死から大山が四球により出塁するも、後続が倒れこの回無得点。
- 4回裏、矢掛高校の攻撃。二死から佐藤孝太（木之子中）が四球により出塁するも後続が続かない。
- 6回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の川が左前打を放ち出塁する。一死から盗塁と牽制悪送球で一死三塁のチャンスを迎える。二死から森上（総社西中）の放った打球が失策を誘い、1点の勝ち越しに成功する。
- 8回表、井原高校の攻撃。ここまで15人連続アウトで安定感を見せていた花岡だったが、先頭打者に四球を与えてしまい、3回以降久しぶりの走者を背負う。次打者の犠打と失策など一死二・三塁となるが、落ち着いて後続を抑え、この回を無失点で終える。
- 8回裏、矢掛高校の攻撃。一死から小川が四球で出塁。続く真砂が中前打を放ち、一・二塁。進塁打などで二死二・三塁と大きなチャンスを迎え、打席の森上が右前打を放ち、2点を追加する。後続が途絶えこの回を終えるも、2点を追加したことで、チームの雰囲気は格段に良くなる。
- 9回表、井原高校の攻撃。先頭打者に痛烈な左越二塁打を放たれるも、その後三人で抑え、ここで試合終了。

矢掛高校は井原高校に4－1で逆転勝利した。今回の試合では、前半は四球で出塁することが多かったが、後半ではヒットで出塁し、それを点に繋げることができていた。守備のミスも比較的少なかったのが良かったと思う。しかし点を許すと焦りが見られるので、落ち着いてプレーして欲しい。また、四死球も試合では命取りになると思うので、それを減らし、一試合でも多く勝てるようにさらに練習に励み、次の試合も頑張ってもらいたい。

今シーズンの勝敗

14勝3敗3分